

むかわ町における地域公共交通活性化・再生総合事業(計画事業最終年度)

むかわ町地域公共交通総合連携計画の目標

- 基本方針** 民意を反映し、持続できる効率的な交通網と経営組織を構築する。
 高齢者層や児童生徒等の交通弱者の交通を確保する。
- 計画の目標** 町内外の交流を促し地域活性化に寄与する。
 地域と連携した持続できる効率的なバス事業
 地域内交通及び2地域間交通の確保
 町外との交通確保

23年度総合事業計画の概要

1) むかわ町コミュニティバスの実証運行(鷓川地区)



- 運行期間 : 平成23年4月～平成23年9月
 運行ルート : 鷓川川西線・鷓川川東線
 運行本数 : 平日2系統8便、土曜・祝祭日・学校長期休校日2系統10便、
 日曜日2系統4便
 運賃 : 町内200円均一(中学生以下無料・高校生100円・障害者100円・65歳以上100円、一般200円)
 運行事業者 : (有)むかわハイヤー

2) バス停留所の整備

施工前



完成



3) バス待合所の整備

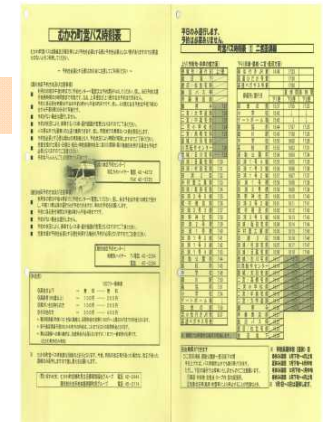


むかわ町地域公共交通活性化協議会開催状況

- 6月22日 第1回協議会を開催
 ・平成22年度事業経過報告・収支決算報告
 ・平成23年度地域公共交通活性化・再生総合補助金交付申請
 ・平成23年度地域公共交通活性化・再生総合事業計画変更の認定
 ・平成23年度協議会事業計画・予算
 ・むかわ町生活交通ネットワーク計画等
- 9月26日 第2回協議会を開催
 ・平成24年度地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請
 ・むかわ町営バス及びむかわ町福祉輸送に係る自家有償旅客運送者の更新登録

4) バス事業情報の提供

バス時刻表作成



電話一本でわかる生活の足

【予約運行バスのメリット】
 ・バス停以外でも、最寄り駅で乗降することができます。
 ・(自治体で準備された乗降設備があります。)
 ・利用者の状況により乗降時間が短縮されます。
 ・(利用者が大人の場合)乗降料、各乗降の場所・乗降回数で運行されます。ただし、利用者の予約されている乗降は、乗降料金が免除となります。乗降料金は、乗降回数に応じて変動します。
 ・乗降が小回りで、小回りを利用し、広く生徒の乗降を確保することができます。
 ・また予約することができ、乗降をスムーズに確保し、乗降待ち時間を短縮することができます。
 ・乗降料金が、乗降回数に応じて変動します。
 ・乗降が小回りであることから、いつでも利用できる方まで各乗降も確保します。

むかわ町広報に
 バス事業について掲載

23年度事業の実施状況

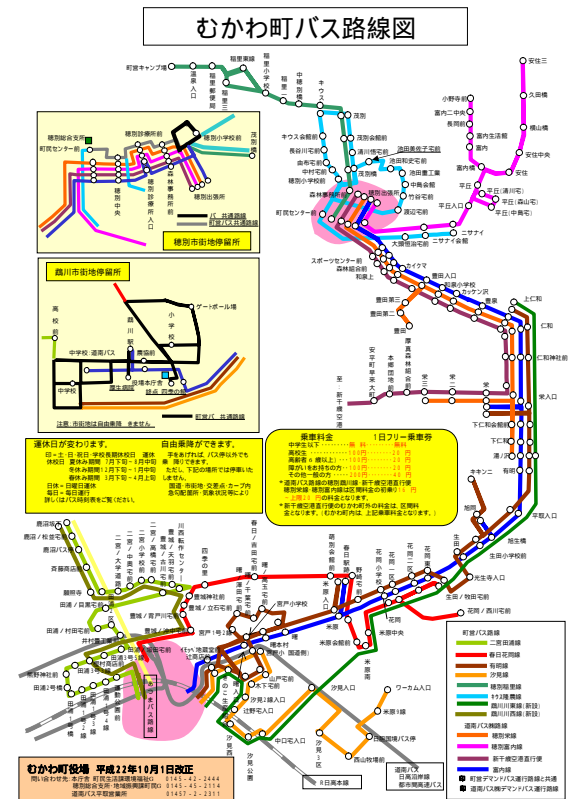
1) プロセス、創意工夫

バス事業に対する理解と協力を得るため、広報誌・情報端末等による周知を図っている。出前講座を開催し、地域住民や高齢者の集まりでバス事業への要望・意見の収集を聴取し、併せて、デマンドバス、コミュニティバス運行の仕組みや利用方法等の説明会を開催し理解と協力を得ている。町主催等の各種イベントや会合等の時間設定をする場合、バスダイヤを意識した設定となるよう協力を依頼した。

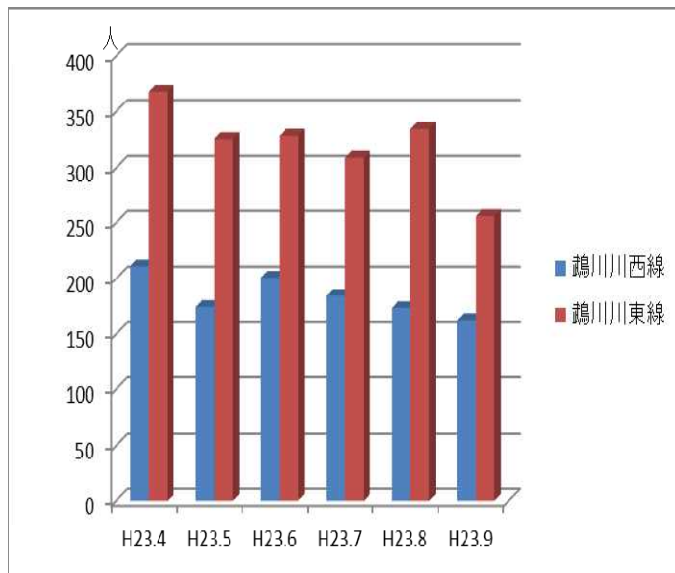
バス事業者路線と町営バス路線が、デマンドバス及びコミュニティバス実証運行を効率的に運行できるための路線及びダイヤの一体的な調整を行っている。

鶴川地区におけるコミュニティバスへの愛称を募集することにより、利用者に愛着を持たせる取り組みを行った。

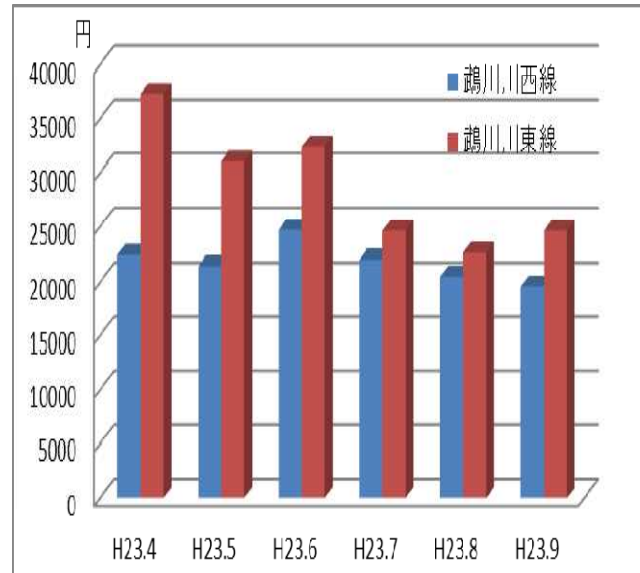
2) 運行ルート



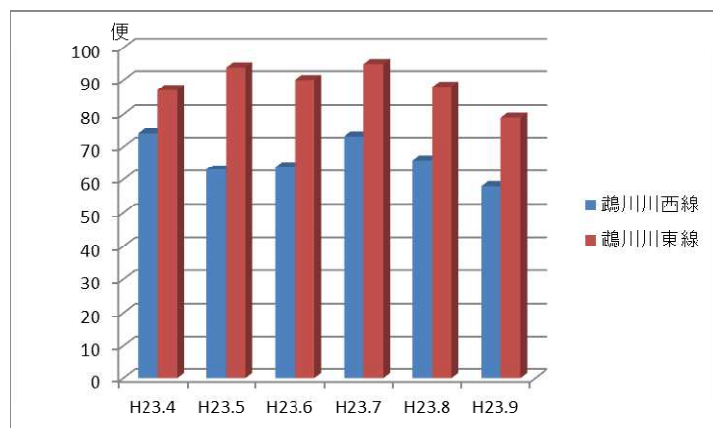
3) 利用実績



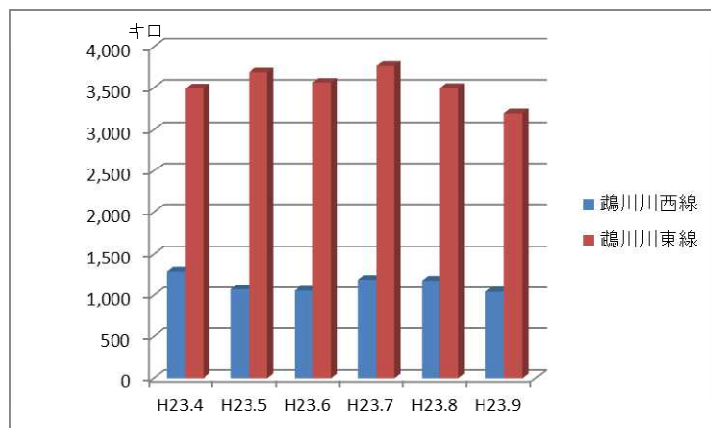
4) 収入実績



5) 運行実績



6) 実車走行キロ実績



7) 事業実施効果

デマンドバス実証運行では、実車走行キロ数が減り、効率化が図られている。その分を路線・ダイヤの改善に向け、利用者のバス事業への理解と協力が得られてきており、平成22年10月より本格運行を始めている。

予約型のコミュニティバス実証運行も実車走行キロ数が減り、効率化が図られている。利用便数の増便及び予約方法の利便性向上により、利用者の理解と協力を得ながら、平成23年10月から本格運行を始めている。

8) 今後の課題

- 町営バス路線及び民間バス事業者路線のより一体的な見直しとデマンドバス・コミュニティバス運行路線の拡大により、利便性・効率化の向上を図る必要がある。
- 予約制反の簡略化による利便性の向上と効率運行のメリットを周知徹底することにより利用者増を図る必要がある。
- バス事業の運営管理方法の効率化を図る必要がある。

自己評価のポイント

デマンドバス実証運行(穂別地区)は平成22年10月から、コミュニティバス実証運行(鶺川地区)は平成23年10月から本格運行を開始した。当該運行により、実車走行距離が減り効率化が図られている。利用便数の増加及び予約方法の利便性向上により、利用者数を増やすことを図っている。

二次評価のポイント

- ・自己評価のとおり。
- ・引き続き運行の効率化・利便性の向上について検証を重ね、自立性・持続性をもった事業となるよう検討されたい。